

楓葉

2018年8月 同窓会誌



独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
発行責任者 佐竹一枝



● ● 楓葉祭参加 (H29.10.28)

今回は、同窓会をもっとアピールするために、ブースの入り口を工夫し入りやすくしたり、展示を見て回りながら、学生さんに声掛けをしました。



● ● 植樹式参加 (H30.2.22)

花桃 花言葉：よい気立て・天下無敵
辛抱・忍耐・愛・なつかしい日

小雨降る肌寒い日でしたが、53回生の笑顔があふれていました。3月下旬には早速かわいい花を咲かせてくれました。

53回生を応援してくれているようでした。



H30.3.26 撮影

会長挨拶

独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
同窓会会長
佐竹 一枝



会員の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと思います。

日頃より同窓会活動にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

私は、平成25年3月まで横浜医療センターに27年間勤務し、4月より相模原病院へ異動しました。異動後の右も左もわからない状況で、同窓の先輩に声かけて頂いたり、横浜医療センター時代に学生指導として関わった後輩が一人前の看護師になっている姿を拝見し、同窓生の絆を心強く感じ励まされました。横浜医療センターを離れたからこそ母校への思いが募り、後輩学生が臨床実習や卒業後の進路決定など抱えている様々な悩み・不安に上手く立ち向かい、また看護職を続けて行けるようにサポートしてあげたいと強く思うようになりました。平成27年に僭越ながら会長職をお引き受けしたのも、母校と同窓の絆への感謝と、後輩への思いからでした。

同窓会では、学生との触れ合いの機会を持ち、同窓会をアピールするために平成25年度楓葉祭参加を始め、平成26年度より3年生に同窓会説明会を実施、平成27年度より植樹式参加など、絆を深めるための活動をしています。同窓会の説明・挨拶は入学時に実施すべきと考え、昨年度より1年生に4月、戴帽式の日に保護者へ説明しています。3年生には、楓葉祭の日に卒業前の準備を兼ねて再度説明しています。説明と同意が、医療・看護では基本であるのと同じく、学生・保護者にも同窓会として丁寧に関わっていきたいと思います。

さて、6月2日(土)、出席者27名と委任状提出で、幹事会が無事開催されました。

2020年6月6日(土)に開催予定の総会についても議題となりました。また、平成26年度に役員推薦委員会規程が作られ、委員の方々の多大なご尽力で、昨年度は副会長、会計、会計監査、今年度は副会長を新役員に迎え、活動しています。

多方面でご活躍されておられる会員の皆様に、同窓会を身近に感じていただけるよう努め、また、皆様のお知恵をお借りして役員一丸となってより一層頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



53 回生卒業式写真

ご挨拶

独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
学校長

平原 史樹



本校に着任して2年が経過し、最初の教え子もすでに3年生に成長しております。同窓諸兄姉におかれましては伝統ある本校の歴史と実績をしっかり携えられ、日々ご活躍されていることに敬意を表し心より御礼を申し上げたく存じます。さて皆様の母校である本校では本年も一般の入学式で熱意に満ちた、元気あふれる81名の第56回生を迎えることができ、また学校はあらたな年輪を重ねることになりました。

日々進歩する医療はなお一層、高度・先進なものとなる一方、とりまく社会環境は超高齢化時代の到来に備えて地域社会での包括ケアの在り方、病院病床の再配分を目途とした地域医療構想計画等、私たちを取り巻く医療・ケアの環境は大変複雑な様相を呈してきております。目まぐるしくかわる時代の中にあっても、看護は医療の中で根幹を占める重要な業務として患者さん、おひとりおひとりに丁寧に対応できる豊かな人間性を求められるとともに、近年の高度な医療技術も習得しておかなくてはなりません。幅広い人間性を涵養し、高度な医学知識、看護理論、看護技術に加えて国際性を持ち合わせた真の医療プロフェッションを育てる場として本校はきわめて重大な使命を担っており、その教育、研修には皆様方同窓の方々の大いなるご支援またご指導をいただくことになるものと考えております。学校では日々、教員、スタッフが一丸となってより良い看護教育の実践を推進しております。また横浜医療センターではドクターカーの活動（病院HPをご覧ください）で医療チームが一丸となって全国でも例を見ない独自の地域連携を実現させております。皆様方におかれましても、ぜひ同窓のお立場として、お互い力を合わせ、連携する中でご自身、またお仲間たちとなお一層のご支援をいただき、また皆様のご発展、ご活躍をされますことをお祈り申し上げます。（2018年5月）

ご挨拶

看護学校現況について

独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
副学校長

内山 紀子



同窓会の皆様、はじめまして。4月1日に着任致しました内山でございます。同窓会の皆様には、日頃より本校の運営につきまして、多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。

着任しての学校の印象は、施設・設備が整っていて恵まれた学習環境であること、そして、朝ロビーで学習する学生の姿と元気のよい挨拶でした。人間関係づくりは、笑顔と挨拶から始まります。気持ちのよい挨拶に清々しい思いをいたしました。

さて、看護学校の近況についてご報告いたします。

107回の国家試験は、71名が受験しましたが残念ながら3名が不合格でした。年々不合格者は減ってきておりますが全員合格を目指して取り組んでまいります。3月に71名が卒業し、今までに2,252名の卒業生を送り出しています。機構病院には、61名が就職をしました。4月7日には、第56回の入学式が行われ、81名の新生を迎えました。81名が欠けることなく卒業を迎えられるよう支援していきたく思います。

現在のカリキュラムは、看護実践能力の向上を図るために演習を強化した学習内容になっています。科学的根拠に基づいた状況判断能力や倫理観を身につけることが必要とされます。そのためにはまず、対象を理解することです。看護の対象である人間を深く理解し、対象の状況を考え、状況に応じた援助にむすびつけられる力を養っていくことが重要です。

今後も、学校教育の充実を図り、看護実践者の育成を目指していきたく存じます。これからも、同窓会の皆様のご協力をよろしく願いいたします。同窓会のますますのご発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。

国立病院機構で働き続けて思う事



22回生のシンボルマークです。

服装はラフ!!身体はタフ!!心はムク!!

笑顔で前を向いていこう!とみんなで会うと辛くても笑い合っています。

国立横浜病院附属看護学校22回生として44名の仲間と苦楽を共にし、ナイチンゲール誓詞
♪我はここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん、、、♪ 戴帽式で白衣を身につけ、44人
無事に看護師とし卒業しました。私は横浜病院に入職し、8ヶ所様々な病棟を経験して現在、

精神科に勤務しています。精神科は奥が深く、まだまだ理解できずに日々奮闘中です。

気付けば、すでに30年という月日が流れ、永年勤続表彰して頂きました。毎日時間に追われ、慌ただしくしている
為か?!30年?、、、そんなに時は流れたんだなあ〜と自分でもピンと来ない感じです。ここまでやってこれたのは、
ひとえに同期や一緒に勤務したスタッフの助けがあったからこそだと思います。ありがとうございました。

今までを改めて振り返ってみると、歴史的な出来事に多々関わらせて頂きました。規模が拡大し医療センターと
なり、スタッフでの病院の引っ越し、紙カルテから電子カルテへの移行、三交代や二交代、早番、遅番と勤務の
多様化、看護学校も新校舎で大型化。医学や看護の常識も新しい治療法や薬剤、看護も新しいエビデンスに基
づいて日々更新されています。そんな中で、新人看護師や看護学生を指導しながら、新しい知識を学べる事は、
ありがたいと感謝しています。

今回、同窓会の役員をさせて頂く事になりました。アラフィフ世代の仲間と更にコンタクトを取り、私自身もお
疲れモード脱してパワーアップして、微力ながらも、同窓会が同窓の皆さまの心の拠り所となれるように貢献して
いけたらと思っています。ぜひ各世代、皆さまのお力を貸してくださいませ!たまにはふらりと、お気軽に同窓会
に足をお運びくださいますようお願い致します。



同窓生の皆さま、こんにちは。

旧国立横浜病院附属看護学校を平成3年に卒業し、横浜病院に入職し
ました。出産等で休みを取りながら仕事を続け、気付けば27年目とな
りました。

病院も建て替えとなり新しい建物になりましたが、看護学校も新校舎
となりました。同じ敷地内にありながらなかなか足を踏み入れることが
なかったのですが、昨年機会があり同級生数人と学校の中を見学させ
ていただくことができました。学校の規模も大きくはなりましたが豊富

な教材や設備にただただ驚いて、感心して帰ってきました。

私はいくつかの病棟や外来勤務を経て現在は外来の内視鏡検査に携わっています。内視鏡検査は上部・下部内視鏡、
脾・胆系内視鏡、気管支鏡等あり多岐にわたっています。検査介助だけでなく、内視鏡治療の介助等にも携わるこ
とができ、覚えることは本当に多いですがやりがいのある仕事だと思っています。つらい、苦しい内視鏡検査が少しで
も楽に、不安なく受けられるように日々患者さんたちと関わっています。

新しい知識を吸収するのが少しずつ苦手になってきている自分にもどかしさを覚えつつ、まだまだ若いと自分を奮い
立たせてもう少し頑張ってみようと思います。

独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター
西2病棟(精神科)在職
22回生

江田 留美子



独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター
外来診療棟在職
26回生

八巻 百合子



独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター
救命救急病棟在職
39 回生
神山 萌

私は、横浜医療センターで働き始め14年目になります。

新人の時に比べると他部署にも知り合いが増え、働きやすい環境にあると思います。医療機器に関しても少しずつ新しくなり、勉強することもたくさんありますが、看護師などの医療技術者の教育・研修もあり、教育制度が整っていると思います。着実にスキルアップすることができ、専門看護師・認定看護師・看護管理者などへのキャリアアップする道も自分次第で開かれると思います。

私は、現在二人の子供がいます。仕事と育児で病棟の師長さんやスタッフの皆さんには迷惑ばかりかけていると思いますが、働きやすい環境を作ってください現在、楽しく働くことができます。大変なことです、仕事と家庭の両立できる自分のライフスタイルをしっかり確立していきたいと思います。優しく頼りになる先輩とかわいい後輩に囲まれ、楽しく仕事ができる環境に感謝します。

独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター
東7病棟（消化器外科）在職
41 回生



西原 理枝

看護学校に入学したのが40歳の時で、娘が小学校に入る年に看護師になり、親子で朝泣きながら家を出た日から早12年がたちました。今は副看護師長として東7病棟（消化器外科）に勤務しています。看護学校では佐竹会長から引き継いだ2年生の講義を担当し6年目になりました。自分たちの時代は1クラス40人で高校の教室のようでしたが、今は後ろの学生さんが見えず、緊張しながら講義をしています。学校で担任だった村田先生や小杉先生にお会いするとタイムスリップした気持ち

になります。昔教えてもらった生徒が教える側となり、教えた学生さんが同じ病棟で働くようになり、看護は人が人を育て、巡り巡っていることを感じます。横浜医療センターで働く同期は片手程の人数になってしまいましたが、同期の皆さん元気ですか？頑張って仕事や子育てをしている話を聞くと、それぞれの成長ぶりを頼もしく感じています。私は、小学1年だった娘が高校3年で進路を決める年になり、自分も専門的な分野を勉強したいと、昨年7月がんセンター東病院の「がん化学療法看護認定看護師教育課程」に行きました。これからも横浜医療センターで頑張っていきます。

私は横浜医療センター附属横浜看護学校の45回生を卒業し、早8年経ちます。

看護学校卒業後、横浜医療センターに入職しました。私の学年は看護学校が大型校へとなった年でもあり、同期の入職者も大勢でありました。看護学校を一緒に過ごした仲間が多かったため、新人研修も楽しく受けることが出来ました。新年度となった4月を迎え、新人看護師のみなさんにフレッシュな刺激を頂くとともに、毎年この時期は新人時代の経験を思い出します。

現在は、地元でもある相模原病院で勤務をし、新人看護師の研修などにも携わらせていただいています。新人看護師の頃の気持ちを思い返しながら、悩むことも多いです。看護師となりあつという間に8年が経過しました。何年目になっても常にその年や経験に応じた悩みは尽きません。そんな時、支えになってくれる存在はやはり同期です。年代ごとに悩みも変化していきますが、同じ悩みを共有でき、共に頑張っているのだと力になります。また、同じ国立病院機構で勤務している仲間には、久しぶりの再会も多く、懐かしい気持ちや安心感もあります。皆さんも日々悩むことはたくさんあると思いますが、素敵な仲間を大切にお互い支え合いながら頑張ってください。

独立行政法人国立病院機構
相模原病院
4階南病棟（泌尿器科・眼科・他混合）在職
45 回生

杉山 春菜



（一番右が杉山さん）



平成30年度 役員

会長 佐竹 一枝 (20回生)	書記 米澤 繁子 (10回生)	会計監査 濱 法子 (14回生)
副会長 江田 留美子 (22回生)	甲田 まゆみ (25回生)	川口 妙子 (16回生)
日野 恵子 (28回生)	会計 関口 静江 (21回生)	
	石川 励 (50回生)	

平成30年度 幹事

1回生 井坂 洋子	20回生 佐竹 一枝	38回生 成田 真代	46回生 藤川 仁子
2回生 奥村 典子	21回生 加藤 佳代子	39回生 佐々木 博之	46回生 森 麻美
3回生 地蔵 ティ子	22回生 江口 裕子	40回生 斉藤 彩	47回生 早川 敦子
4回生 神代 アキエ	23回生 小谷 知子	41回生 霜 鳥 耕輔	47回生 村上 佑子
5回生 深石 みつ子	24回生 崎山 和美	41回生 川上 泰史	48回生 新沼 美穂
6回生 井上 ふさ子	25回生 甲田 まゆみ	42回生 岩竹 絵美	48回生 平田 彩佳
7回生 稲垣 文子	26回生 長尾 久栄	42回生 佐藤 広太	49回生 角 俊一郎
8回生 浅野 恵美子	27回生 富浦 裕	43回生 平沙 敬悟	49回生 佐藤 太一
8回生 渡部 俊子	28回生 木内 由起子	43回生 三澤 宏美	49回生 久永 栞
9回生 寺沢 秀代	29回生 清水 敦子	44回生 田村 佳世子	49回生 平山 光子
10回生 米澤 繁子	30回生 小堺 史恵	44回生 佐藤 春加	50回生 中村 智早
11回生 小泉 由美子	30回生 中野 理恵	45回生 勝間田 昌寛	51回生 三宅 徹
12回生 大幡 洋子	31回生 松岡 泰子	45回生 樋渡 彩子	52回生 出野 光穂
13回生 市川 美紀子	32回生 小林 里美	45回生 寺内 舞	52回生 玉井 沙英
14回生 濱 法子	33回生 小林 美樹	46回生 伊藤 紗緒里	53回生 北郷 綾乃
15回生 関戸 富子	33回生 川辺 美里	46回生 小山田 真美	53回生 切替 彩夏
16回生 川口 妙子	34回生 巨瀬 里美	46回生 田尻 高基	53回生 水田 更紗
17回生 杉山 トミ子	35回生 伊藤 直子	46回生 中曾根 未央	53回生 森田 志帆
18回生 村松 真佐子	36回生 坂口 佳織	46回生 荒木 大地	
19回生 鈴木 雪子	37回生 池江 真彦	46回生 坂本 健太郎	

《 幹事の役割 》

1. 自分のクラスメートの住所把握：
変更時や不明者の住所判明時は、役員に連絡。
2. 幹事会への出席：年1回（6月第1土曜日）。
やむを得ず欠席の場合は、責任を持って代理出席者を立てる。
3. 同窓会事業への参加：
幹事交代時は、次期幹事を責任を持ち決定し、役員に知らせる。

同窓会の主な活動

- ＊ 毎月役員会（第1土曜日） ＊ 植樹式へ参加
- ＊ 3年生への同窓会説明会
- ＊ 同窓会会誌「楓葉」準備・発行
- ＊ 学校の各行事へ出席
- ＊ 楓葉祭へ参加…今年は10月27日（土）

住所変更届けのお願い

改姓・住所変更等ありましたら同窓会本部まで、メールまたはFAX、郵送にてお知らせ下さい。

<記載内容>

回生、氏名、変更内容（旧〇〇、新〇〇）、連絡先
よろしくごお願い致します。

同窓会本部

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3丁目60番2号

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校内

TEL. 045-853-8322（学校直通）FAX. 045-853-8348

E-mail. setumeikai@yokohama-ns.ecweb.jp

（※件名に「同窓会へ」と入力して下さい）

編集後記

昨年より副会長になりました、28 回生日野です。私も勤続 25 年目となり、26 回生八巻さんとともに外来（内視鏡）勤務をしています。新棟になって 8 年、そして自分は今何年も夜勤をしていないのに、いまだに旧棟で夜勤する夢をみます。お世話になった方々に、夢の中でもお礼をしなければと思います。

28回生 日野 恵子